

継続教育セミナー 2024 概要

申込方法

右記のQRコードから「申込フォーム」を立ち上げて、「申込フォーム」に必要事項をご入力の上送信頂き、受講料をお振り込みください。「お申込み」と「ご入金」の確認ができましたら「申込完了」となります。



※申込フォームを送信して頂きましても、ご入金が行われていないと受講できない場合がございますのでご注意ください。

受講料

23,500円 (JSA会員 14,100円) 受講料には、資料、2日間の昼食、消費税を含みます。

※1日のみの受講の場合は11,750円 (JSA会員 7,050円)

振込先

みずほ銀行 新宿西口支店 普通 No.1221242

口座名：一般社団法人 日本スキン・エステティック協会

※振込手数料は各自ご負担ください。

受講証 (入金確認メール)

ご入金を確認されましたら「入金確認メール」(受講証になります)が届きます。そのメールをプリントアウトもしくは、スマートフォン等に保存して当日受付にご提示ください。

申込みの取り消し

受講申込みを取り消す場合は、事務局宛てにメール (info@jsa-cpe.org)、もしくはTEL、FAXにてご連絡ください。なお、事務局からの「取り消し手続き完了」の連絡がない場合は、お電話にてお問合せください。お支払い済みの受講料の払い戻しにつきましては、下記の通りになりますので予めご了承ください。

8月20日(火)までに取り消される場合：受講料の50%

8月21日(水)以降に取り消される場合：払い戻しはいたしません

CEU (継続教育ポイント)

CPEの方は、本セミナーの受講により1.5CEU(15時間分)の取得が可能です。

※各講義を30分以上遅刻及び退室した受講者は、ポイントの取得が出来ませんのでご注意ください。

事務局

〒163-0643 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル43F

TEL.03-3345-0195 FAX.03-3345-1523 mail;info@jsa-cpe.org

一般社団法人 日本スキン・エステティック協会内

セミナー事務局

※スケジュールは都合により変更する場合があります。

<https://www.jsa-cpe.org>

ご挨拶

皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当協会への格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで当協会主催の継続教育セミナーも、今回で52回目の開催を迎えることができました。このように毎年セミナーを開催できるのも、ひとえに全国のCPEの皆様をはじめとして、関係各位の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

本年は、公益財団法人日本エステティック研究財団の理事長による<特別講演>も賜りますので、CPEの方、及びエステティシヤンの皆様には、この2日間の継続教育セミナーにより、多様化しているお客様ニーズに応えるべく、プロフェッショナルとして、より一層知識の研鑽を図り、有意義なものとして更なるサービスの向上にお役立ただけければ幸いです。

一人でも多くの方のご参加を、事務局一同、心よりお待ちしております。

一般社団法人 日本スキン・エステティック協会

会場

大崎ブライツコアホール

〒141-0001 東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライツコア3F

TEL：03-5447-7130

URL：www.osaki-hall.jp

- JR山手線、埼京線、湘南新宿ライン、りんかい線「大崎」駅南改札口を出て、新東口より徒歩5分



JSA セミナー

～エステティシヤンのための 継続教育セミナー 2024 Vol.52

OFFICIAL PROGRAM

日程：2024年9月3日(火)・4日(水)

会場：大崎ブライツコアホール
(大崎ブライツコア 3F)

主催：JSA 一般社団法人
日本スキン・エステティック協会

協賛：日本継続教育センター

9月3日(火)

9月4日(水)

8:50	受付	9:20	説明
9:20	開会／説明	9:30	説明
9:30	講義1 特別講演 関東 裕美 0.2 CEU	9:30	講義5 高山 かおる 0.2 CEU
11:30	講義2 有竹 清夏 0.2 CEU	11:30	講義6 内田 朝美 0.2 CEU
13:30	昼食	13:30	昼食
14:30	講義3 國澤 純 0.2 CEU	14:30	講義7 遠藤 健司 0.2 CEU
16:30	講義4 吉形 玲美 0.2 CEU	16:30	講義8 藤川 恵子 CPE 0.1 CEU
18:30		17:30	閉会

* 講義中の撮影及び録音は禁止いたします。
 * 講義の内容及び時間等は都合により変更される場合があります。

講義1 特別講演 関東 裕美
 公益財団法人日本エステティック研究財団 理事長
 公益社団法人日本毛髪科学協会 副理事長
 稲田堤ひふ科クリニック 医学博士 日本皮膚科学会専門医

**「安全な施術をするために知っておきたい
 ～エステティシャンのための皮膚知識」**

エステティックの安全性や衛生研究、営業者の経営倫理の確立を通して消費者被害防止を図り、業界健全化を目的に厚労省公益認可を受け設立された研究財団で、2013年から理事長を拝命し社会啓発に努めている。老若男女幅広く美容施術に期待する現状であるが過剰施術で安全性を逸脱することがあってはならない。エステティシャンとして皮膚科学・皮膚疾患を理解し安全な施術を心掛けて欲しい。

講義2 有竹 清夏
さやか
 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究所 教授
 保健学博士 米国認定睡眠検査士 (RPSGT)

「ライフステージ・ライフスタイルと睡眠・健康」

私たちの眠りは、思春期や成熟期、更年期などライフステージ、またライフスタイルによっても影響されます。例えば、女性の体はいくつかの女性ホルモンと密接に関連していますが、これらの月単位、年単位の生体変化により眠りは影響を受け、身体的・精神的不調や不眠、眠気などの睡眠問題が生じることも多くあります。一方、男性の体もホルモンの影響を受ける点でも例外ではありません。今回、私たちの眠りについて皆様と改めて考える機会にできればと思います。

講義3 國澤 純
 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
 医薬基盤研究所 ヘルス・メディカル微生物研究センター 副所長/センター長

「腸から変わる!あなたの健康未来」

近年、健康維持・増進のために「腸活」をする人が増えています。その背景には、腸の働きが、腸だけでなく、皮膚(肌)を始めとする様々な身体機能に影響を与えることが分かってきたことがあります。本講演では、食事と腸内細菌に焦点を当て、近未来の健康を考える上で重要な「腸活」について紹介したいと思います。

講義4 吉形 玲美
 特定非営利活動法人更年期と加齢のヘルスケア 副理事長
 公益社団法人日本産科婦人科学会産婦人科専門医 医学博士

**「女性のライフステージと腔マイクロバイオームの変化から考える
 ～新しいフェムケアの考え方」**

理想的な腔マイクロバイオームはラクトバチルス属を主体とする乳酸菌が保たれた状態であり、性感染症や婦人科癌を予防するなど広く健康効果との関連が示されている。ラクトバチルスの維持には女性ホルモンが深く関与しており、月経周期や女性のライフステージで腔マイクロバイオームは大きな変化を認める。本講演では腔マイクロバイオームの変化をとらえた新しいフェムケアについて提案したいと思う。

講義5 高山 かおる
 一般社団法人足育研究会 代表
 埼玉県済生会川口総合病院 皮膚科 主任部長
 東京医科歯科大学 臨床准教授 皮膚科専門医

「足元の健康と美の関係性～爪の形が意味する体のトラブル～」
 巻き爪を例にとると、おおよその年代でも30%ほどの罹患率があるとされるほど足爪のトラブルの頻度は高い。巻き爪は、その形を補正することだけに注目されるが、爪は身体の健康状態を示すバロメーターとして機能していることを知らなければいけない。本講演では、爪の形に潜在的に反映されている健康問題と、その解決方法について解説する。

講義6 内田 朝美
 株式会社フレアス 未来創造ラボ
 鍼灸・マッサージ師

「睡眠特化型鍼灸マッサージ治療院で行う施術メソッドを活かしたツボケア」

日本人は世界の中で最も睡眠時間が短く、大きな課題を抱えている。睡眠特化型治療院で実際に行っている施術の中から、睡眠の基礎知識と研究成果(エビデンス)を取り入れた施術メソッドの一部を実際に体感し、明日から施術に取り入れられる知識と技術の習得型学習を行う。正しいツボの位置とマッサージ効果の科学的根拠を理解し、QOL向上につながる施術提供を目指す。

講義7 遠藤 健司
 東京医科大学 整形外科科学分野 准教授
 一般社団法人日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄外科指導医

**「本当はコワイ肩こり
 ～自律神経、肌荒れ、お腹ポッコリ、頭痛、目の疲れ」**

最近疲れやすく、集中力が無く、物忘れをしやすくなった、手足が冷える、肌荒れ、お腹ポッコリ、頭痛、目の疲れなど、肩こりからはいろいろな症状が発生します。肩こり自体は、生活からくる体調不良のひとつですが、放置すると、うつ状態になってしまい生活に大きな支障をきたしてしまいます。なぜ肩こりがさまざまな症状をひきおこすのか、どう対処したらよいかを説明したいです。

講義8 藤川 恵子 CPE
 Private Esthetic Salon Elsa オーナーエステティシャン
 CIDESCO インターナショナル・エステティシャン

**「お客様と脱毛士にとって有意義な高周波脱毛法
 ～アメリカでの経験を踏まえて」**

現在、性別・年齢問わず、脱毛経験者が多くいらっしゃいますが、経験した脱毛法(レーザー脱毛・美容ライト脱毛等)で満足した結果を得られていない方や、硬毛化・増毛化など新たなお悩みを抱えてしまった方も多くいらっしゃいます。これらを解決できるのは「美容電気脱毛」ですが、日本では認知度が低く、痛い・時間がかかるイメージがあるのが現状です。私自身が脱毛先進国のアメリカで体験した「スーパーフラッシュ法」の有効性・必要性(痛みが少なく!早い!確実性が高い!)の認知度を高めることが、お客様と脱毛士にとって有意義であることをお話しさせていただきます。